

合併協議会

vol.3
2007年9月

豊川市
Toyokawa

音羽町
Ofowa

御津町
Mito

だより

豊川市・音羽町・御津町合併協議会

〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地
豊川市役所内（北庁舎2階）
TEL (0533)89-2263
FAX (0533)89-2125
URL <http://tom-gappei.jp>
E-mail info@tom-gappei.jp

豊川市・音羽町・御津町合併協定調印式

平成19年8月6日（月） 豊川市民プラザ



調印を終え、固く握手する（左から）深谷御津町長、中野豊川市長、神田愛知県知事、宇都野音羽町長

平成19年8月6日（月）午後1時30分から、豊川市民プラザにおいて「豊川市・音羽町・御津町合併協議会第5回会議」を開催し、合併後のまちづくりの基本方針となる新市基本計画案が承認されました。

これにより、予定していた全ての合併協定項目の協議が終了したことになり、引き続き午後2時30分から、豊川市民プラザにおいて「豊川市・音羽町・御津町合併協定調印式」を開催しました。立会人の神田真秋愛知県知事らが見守る中、豊川市長、音羽町長及び御津町長が、議論を重ねてきた24の全協定項目の協議結果を記した協定書に署名・押印を行いました。

また、8月16日（木）には、1市2町の議会において、「1市2町の廃置分合について」をはじめ合併に関する4議案を審議し、1市2町とも原案のとおり可決され、同日、豊川市長、音羽町長及び御津町長は、廃置分合申請書（宝飯郡音羽町及び同郡御津町を廃しその区域を豊川市に編入する処分）を愛知県知事に提出しました。

これにより、国・県の手続きを残していますが、平成20年1月15日の新「豊川市」誕生が実質的に決定したことになります。

合併協議会 第5回会議の結果

- 日時 平成19年8月6日(月)
午後1時30分から
- 会場 豊川市民プラザ
(プリオII 4階)
- 出席者 会長、委員及び顧問
25名出席

会長あいさつ、会議録署名者の指名に引き続き、以下のことが話し合われました。

協議事項

①新市基本計画について

第3回合併協議会において、愛知県協議案として確認された新市基本計画(案)については、愛知県知事により承認されました。県との協議が終了したことを受け、本案を正式に当協議会の新市基本計画とした旨を提案し、原案どおり決定されました。

豊川市・音羽町・御津町合併協定調印式

平成19年8月6日(月)
豊川市民プラザ



神田愛知県知事による立会人署名・押印



1市2町首長による署名・押印



1市2町議会議長による立会人署名・押印



調印された合併協定書

主催者あいさつ

豊川市長 中野勝之

本日ここに、豊川市、音羽町、御津町の合併協定調印式を挙行いたしましたところ、公私ともにご多用の中、神田愛知県知事、地元国会議員並びに県議会議員の皆さんをはじめ多くの皆様方にご臨席を賜りまして、心から厚く御礼を申し上げます。

また、6月の法定協議会の設置から、2ヶ月余りという、大変短い期間でございましたが、合併協議会委員の皆様には、本当に多忙なスケジュールの中、真摯で前向きなご協議を賜り、極めて順調に本日の調印式を迎えることができました。改めて心より感謝申し上げます。

思い起こしますと、今回の市町村合併は、平成13年の11月に豊川市と宝飯郡4町という枠組みでの合併協議がスタートしましてから、今日で5年10ヶ月、紆余曲折がございましたが、豊川市と旧一宮町との合併を間に挟みながら、合併新法の施行を契機に、改めて豊川市と音羽町及び御津町という、1市2町の枠組みで、今日を迎えることができました。

この間、音羽町長さん及び御津町長さん、1市2町の議会議員の皆さん、合併協議会事務局をはじめ1市2町の

職員の皆さん、国・県のご指導など、関係の皆様の献身的なお力添えに深く感謝を申し上げます。

全国での市町村合併は、1993年の地方分権に関する国会決議がその始まりでありました。その内容は、「ゆとりと豊かさを実感できる社会」を目標とし、「成長優先の政策」から「生活重視の政策」への転換を図っていくという趣旨のものであったと記憶しています。

生活を重視するならば、国は、地方自治体の役割を強めなくてはなりません。今や第二次地方分権改革が進んでいます。これは、まだまだ途上にあります。新豊川市は、人口16万人、住民の融和と市民一人ひとりのご参加の中で未来に向けて歩みだしました。その観点から申し上げます、今日が新たなまちづくりのスタートであることを肝に銘じまして、新市の将来像であります「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち 豊川」の実現に向けて、総力を結集して取り組んでいく覚悟であります。

豊川市と音羽町、御津町、それぞれ自然と歴史に裏打ちされた文化と伝統がございます。これらの地域の特色を生かしながら、お互いの信頼関係のもとに知恵を出し合い、汗を流しながら、新たなまちづくりに取り組むことにより、10年、20年後に、合併して本当に良かったと市民の皆様に実感していた

だけるものと考えております。ご臨席いただいております皆様方の今後ますますのご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

本日は本当にありがとうございます。

音羽町長 宇都野 武

本日は、神田真秋愛知県知事をはじめ、国會議員、県會議員の皆様方をお招きして、また、1市2町の関係者の方も多数ご出席いただきまして、合併協定調印式を行えたことに、厚く御礼申し上げます。

また、合併協議会の委員の方々には、大変忙しい中、新市基本計画を含む24項目の合併協定項目について慎重にご協議いただき、厚く御礼申し上げます。

地方分権が語られるようになって久しく、地方自治体は、この流れの中で一層の改革が求められ、地方自治の根本であります自己決定、自己責任を伴った行政運営が強く求められているところがございますが、音羽町は、逼迫してきました財政、行政の組織運営の問題、人口の高齢化、地方分権等一連の改革の推進、合併新法の施行等、さまざまな課題に直面しています。

こうした課題を打開するには、合併は有力な手段と考えております。人口1万人未満の音羽町にとりましては、

住民の生活に大変密着している事業を共同で行っていることや、就業や買い物等で深いつながりがある豊川市との合併を強く認識しております。豊川市に対して合併協議の申し入れをいたしました。

本日ここに、調印の日を迎えたわけでありますが、いろいろな過程がございましたが、中野豊川市長を始めとする市の執行部の皆様、鈴川議長を始めとする市議會議員の皆様、豊川市民の皆様が音羽町に対する暖かいご理解に対しまして、心より感謝したいと思います。

本日調印いたしました項目が、新市において着実に実施され、新しいまちの特性、個性が伸び、「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」として、住民が、合併してよかったと思えるまちになりますことを心から祈念いたしました。本日のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございます。

御津町長 深谷 泰範

本日の、豊川市・音羽町・御津町合併協定調印式にあたりまして、一言御礼を申し上げます。

御津町も、前回の合併協議会におきましては、ご承知のように、約7割の方が反対されました。今日に至るまで、議会、町民の皆様方の大変なご協力を

いただきました。この場をお借りして御礼を申し上げます。また、本日に至るまで、愛知県を始めとした皆様のご指導、ご助言等いただきましたことについても、この場をお借りして御礼を申し上げます。

それぞれのまちの生い立ちには異なります。御津町の歴史も、70年を越えています。この合併において、それぞれのまちが一緒になるわけですが、1つになるには時間がかかると考えています。1月15日の合併まで細部にわたった調整が必要になるかと思いましたが、1月15日以降におかれましては、新市においてそれぞれ皆様方がご協力いただき、合併してよかったといえるまちになっていただきたいと思えます。

最後になりますが、それぞれの市町の市民・町民の皆様が力を合わせて、新市に向かってまちづくりをしていただきたいと思えます。

本日は誠にありがとうございました。



合併関連議案が 可決されました

平成19年8月6日(月)に行われた合併協定書の調印を受け、8月16日(木)、1市2町の議会において豊川市・音羽町・御津町の合併協議に関する次の4議案が上程され、すべて可決されました。

議案の概要は、以下のとおりです。

1 廃置分合について

平成20年1月15日に宝飯郡音羽町及び同郡御津町を廃し、その区域を豊川市に編入することを愛知県知事に申請する。

2 廃置分合に伴う 財産処分に関する協議について

宝飯郡音羽町及び同郡御津町の所有する財産は、すべて豊川市に帰属させる。

3 廃置分合に伴う議会の議員の 定数に関する協議について

合併後の豊川市議会の議員の定数は、市町村の合併の特例等に関する法律の規定に基づき、豊川市議会の議員の残任期間に相当する期間に限り、次の表に掲げる区域に設けられる選挙区において選挙すべき議会の議員の定数を豊川市議会の議員の定数30人に加えた数とする。

区 域	選挙すべき議会の議員の定数
宝飯郡音羽町の区域	2人
宝飯郡御津町の区域	3人

4 廃置分合に伴う農業委員会の委員の 任期に関する協議について

宝飯郡音羽町の農業委員会の選挙による委員2人及び同郡御津町の農業委員会の選挙による委員4人は、市町村の合併の特例等に関する法律の規定を適用し、豊川市の農業委員会の委員の在任期間に限り、引き続き豊川市の農業委員会の選挙による委員として在任する。

合併申請書を 愛知県に提出

豊川市、音羽町及び御津町の議会において、合併関連議案がすべて可決されたことから、8月16日(木)、廃置分合(宝飯郡音羽町及び同郡御津町を廃しその区域を豊川市に編入する処分)についての申請書を豊川市長、音羽町長及び御津町長が愛知県に提出しました。



稲垣副知事に合併申請書を手渡す豊川市長、音羽町長、御津町長

編集後記

the editor's notes

8月上旬に開催した住民説明会においては、住民の方から合併に関するさまざまな質問・意見をいただき、皆さんの合併に対する関心の高さを改めて認識しました。よりよいまちにしていきたい、という気持ちはみんな同じだと思います。

この8月には、合併協定調印式、合併申請書の提出も無事終了し、来年1月15日の新市誕生がはつきり見えてきました。あと4ヶ月半ほどですが、スムーズに新市に移行できるような体制作りに取り組んでいきます。

◆おひつわり

豊川市・音羽町・御津町合併協議会は、すべての協定項目を確認したことにより、今後は、不定期の開催となります。

協議会の発足以来、「合併協議会だより」にて協議会の状況等をお知らせしてきましたが、今後につきましては、必要に応じての発行とさせていただきます。

なお、会議の開催等につきましては、ホームページや各市町の広報等でお知らせする予定です。